

事業分野
人形劇制作

団体名
公益財団法人 現代人形劇センター

関心のある 15のAction



これまでの取組活動

現代人形劇センターは、結成以来50余年にわたって、人形劇の多様な魅力を社会に伝えると同時に、人形劇によって社会に貢献することを課題に活動してきました。その中でも、ろう者と聴者が共に活動する国内唯一の専門人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」と、伝統人形芝居乙女文楽は、全国的にも特色ある人形劇を創造、伝承し、国内外で公演すると同時に、地元川崎市に根差しながら活動してきました。



「デフ・パペットシアター・ひとみ」は、障害の有無に関わらず楽しめる人形劇の上演やワークショップを全国で行っています。川崎市内では、2018年新作発表時に行政・教育機関・福祉施設・まちづくり団体・個人等が参画する「観る会」を組織し、協働しました。近年では市立聾学校と協働する企画も多数実施しています。「乙女文楽」では、川崎市内を中心に①定期公演、②学校出張講座、③子ども向け体験教室、④教室修了生の上演活動支援、⑤高齢者向け施設での上演などを行っています。



市制100周年に向けた取組アイデア

①『デフ・パペットシアター・ひとみ』

ろう者と聴者がともにつくる人形劇団であると同時に、「全ての人に人形劇を」のコンセプトのもと、幅広い人たちが楽しめる質の高い作品を公演しており、川崎市でも、障害の有無や言語の違いを超えた多様な人が一緒に楽しめる公演を実現したいと考えます。また、地域の商店・学校・企業などにむけて、手話や障害を楽しく知る機会として、ろう者の講師が、手話や人形劇の発想をもとにしたコミュニケーションワークショップも計画しています。



②『ひとみ座乙女文楽』

乙女文楽は全国的にもユニークな人形芝居で、2018年に「川崎市地域文化財」として顕彰されています。この機にひとみ座乙女文楽+「乙女文楽教室修了生の会」の青少年との合同公演を開催し、また市のバックアップのもと市内全区で公演と体験ワークショップを実施し、市民が乙女文楽を知り、親しみ、川崎市に愛着をもつ機会をつくることも考えられます。



実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

当団体は長年の経験や実績がありますので、様々な企画や場所での実現が柔軟に対応可能です。ちょっとこんなことがやってみたい、話を聞いてみたい、コラボレーションしてみたいなど、お気軽にご相談ください。また、上記のように、全国的にも特色ある2劇団が活動していますので、私たちといっしょに、市民が川崎に愛着を深め、市外にも川崎をアピールする企画を、他団体とも連携してつくっていきたいです。